

今後の渋滞対策について（岳南エリアWG）

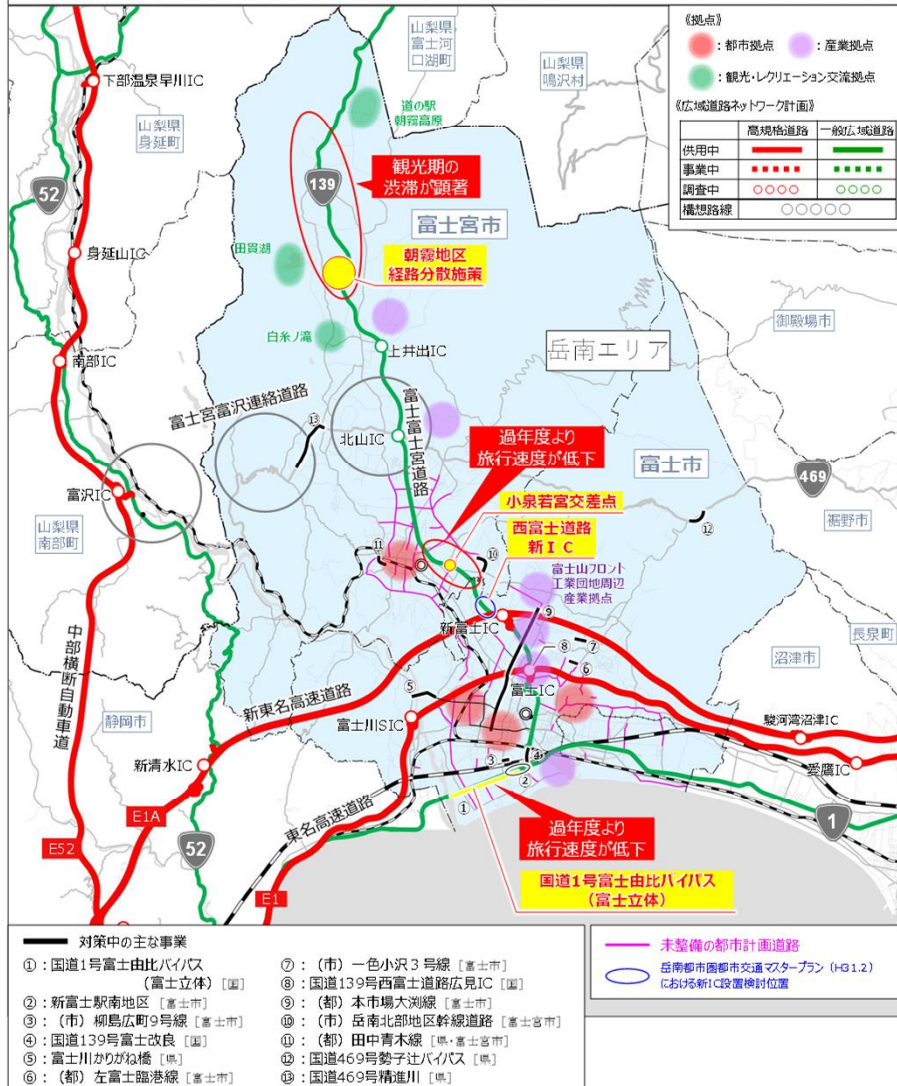
今後の渋滞対策について(岳南エリアWG)

○ R7.1.24に岳南エリアWGを開催し、地域が抱える喫緊の交通課題に対しても、ハード・ソフトを含めた渋滞対策の方向性をとりまとめ。

【議事要旨】静岡県道路交通渋滞対策推進協議会 第2回岳南エリアWG(令和7年1月24日)

○岳南エリアの将来道路ネットワークのあり方の検討に向けて、道路の使われ方や現状の交通課題を把握し、関係者間で将来の道路の使われ方や想定される課題を議論。

○さらに、地域が抱える喫緊の交通課題に対しても、ハード・ソフトを含めた渋滞対策の方向性について、関係者間で共有。



＜地域が抱える喫緊の交通課題＞

- 1) 国道139号小泉若宮交差点付近では、過年度と比べ、渋滞が悪化。
- 2) 国道139号朝霧地区では、観光期の渋滞が顕著。
- 3) 富士市内の国道1号では、過年度と比べ、渋滞が悪化。
沿線に多くの企業・工場・商業施設や「道の駅」などが立地。

＜渋滞対策の方向性＞

- 1) 小泉若宮交差点の交差点改良の必要性、西富士道路新ICの設置。
- 2) 国道139号朝霧地区の経路分散施策(R7実施予定)。
- 3) 国道1号の道路の使われ方や沿線での開発行為などを踏まえた、国道1号富士立体の道路構造の変更の必要性。



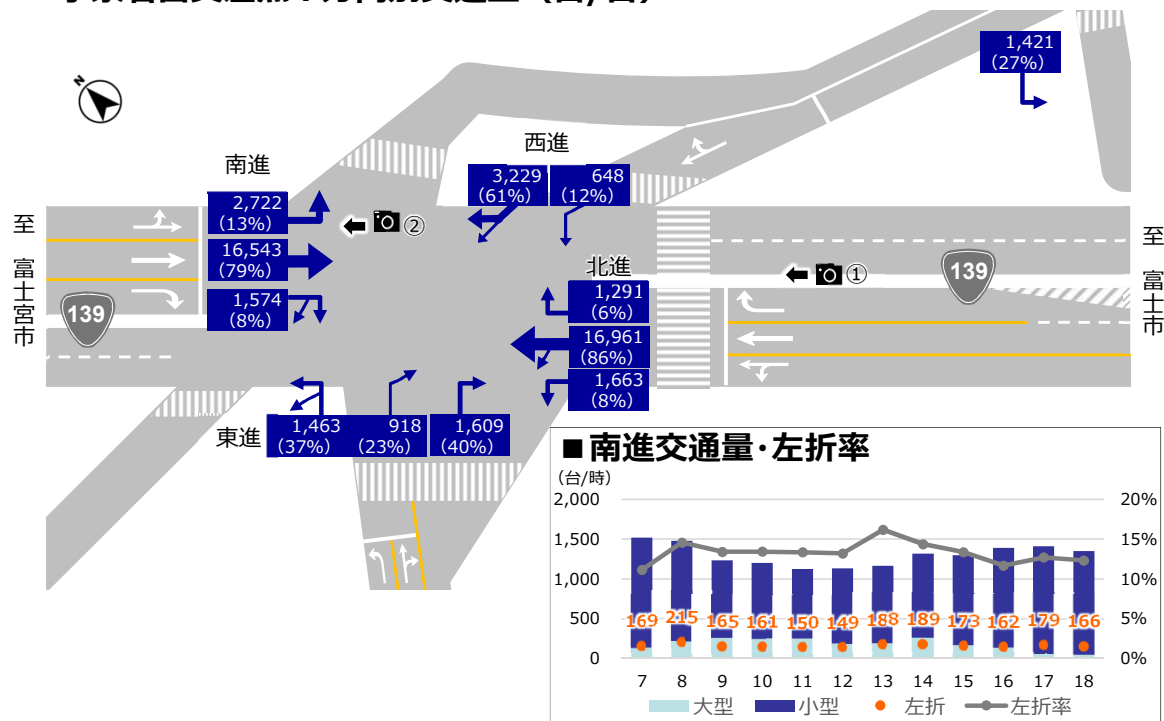
出典：(INW) R5.4.1時点中ブロック広域道路ネットワーク計画図(国交省HP)《拠点等》第三次富士市都市計画マスタープラン素案(R5.7)、富士宮市都市計画マスタープラン(R2.3)《都市計画道路》富士宮市都市計画道路整備プログラム(R2.4)、岳南広域都市道路計画の変更について(富士市)(R4.10)

今後の渋滞対策について(岳南エリアWG)

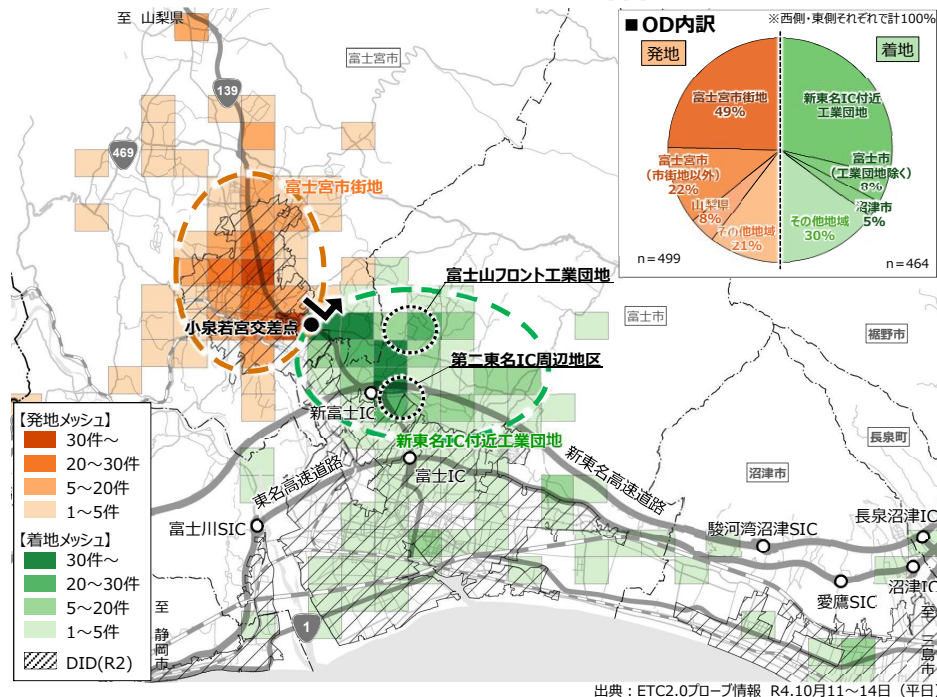
(岳南エリアでの主な課題)国道139号小泉若宮交差点

- 小泉若宮交差点では、国道139号の南北直進方向の交通量がそれぞれ約2万台/日と卓越しているが、南進左折および西進右折交通も約3千台/日と多くなっている。小泉若宮交差点左折交通は、富士宮市市街地⇒新東名IC付近工業団地へのアクセス交通の占める割合が多い。
- 南進の車線は直左/直進/右折となっているが、直左車線で左折車両が混在することにより速度が低下し、捌け交通量が低下。

■小泉若宮交差点：方向別交通量（台/日）



■小泉若宮交差点：南進左折交通の交通特性



■南進方向の交通状況



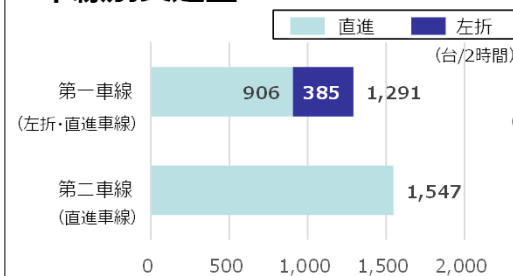
R6.10.17 (木) 撮影



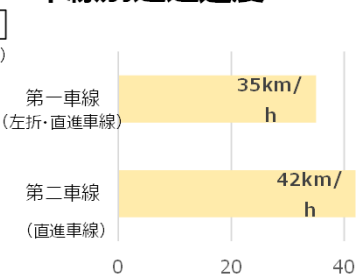
R6.10.17 (木) 撮影

■南進のピーク時交通状況

・車線別交通量



・車線別通過速度



出典：R6.10.17 (木) 調査結果 7-8時台